

薪文楽

10月5日、清和文楽館で薪文楽が行われました。毎年、大川阿蘇神社で開催されていますが、今年はいくの雨に見舞われ場所を変更しました。公演は清和中学校生徒による「所作おどり」や、「日高川入相花王」などの上演があり、悪天候にも関わらず多くのお客さんが足を運び、普段見る文楽とはまた一味違った文楽を楽しんでいました。

また、公演の前には物産館内でお楽しみの「十人重箱弁当」のおもてなし。重箱弁当に詰められた、色鮮やかな野菜など地元ならではの田舎料理を満喫しました。



清和中学校生徒による「所作おどり」
文楽人形を模した踊りで観客を魅了しました。



公演前のおもてなし十人重箱弁当



文楽人形の上演「日高川入相花王」

大川阿蘇神社農村舞台が生まれ変わりました

大川阿蘇神社の境内にある農村舞台。完成から地域の人々の娯楽の場として人形浄瑠璃をはじめ、郷土芸能の場として数多くの催しが行われてきました。平成17年11月10日には国登録有形文化財（建造物）になっています。

しかし、近年老朽化が進み、神社の氏子中でも長年の懸案事項となっていました。今年に入り「長い年数、今日まで守り受け継がれてきたこの舞台を今後も伝えていきたい。」という思いが、総代会で一致し、実行委員会が設立されました。氏子をはじめ、町内にも奉賛金を募り7月に着工、ついに9月に落成を迎えました。

9月10日に行われた竣工式典で実行委員長の高村直臣さんは、「地域の人たちの手助けがあったからこそ、このような立派な舞台に改修することができた。地域づくりのために、今後もこの舞台が活用されれば嬉しい。」と思いを語られました。



立派な農村舞台が完成しました

山々を風となって駆け巡る 第6回九州脊梁山脈トレイルラン大会



今年も多くのランナーが九州脊梁を風のごとく駆け抜けました。

9月29日（日曜日）に開催された第6回九州脊梁山脈トレイルラン大会。本大会は清流館（緑川）をスタートし、小川岳・向坂山・三方山などを回り、清流館へ戻ってくるおよそ35km、1500m超の尾根筋を走る山の鉄人レースです。

今年は過去大会で規定時間内にゴールした選手が参加できるエキスパートクラスに54人、一般クラスに329人が参加しました。一般クラスはインターネットによる受付で、開始2時間30分で募集人数に達するほどの人気でした。

前日から泊り込む選手や車中泊する選手、当日の早朝来る選手、さまざまなスタートまでの過ごし方がある中で、闘志を燃やす選手の影響なのかまだ肌寒いはずのスタート地点が熱気であふれていました。



クラス	順位	時 間
エキスパート男子	1位	3時間 6分 荒木宏太さん
エキスパート男子	2位	3時間 11分 鬼塚智徳さん
エキスパート女子	1位	4時間 17分 吉田広美さん
一般男子（39歳以下）	1位	3時間 45分 和田善之さん
一般男子（40歳以上）	1位	3時間 45分 宮崎祐行さん
一般女子	1位	4時間 37分 栗崎寿乃さん